

ビッグデータによる消費者ニーズの調査等に 基づくマーケティング戦略の企画・支援

キーワード ビッグデータ/データサイエンス/マーケティング/消費者ニーズ/地方共創(CSV)

研究
概要

松林研究室では専門分野である経営学・データサイエンスによるマーケティング研究の一環としてビッグデータ(消費者動向調査・POSデータ・メディア報道記事等)を活用した市場調査や消費者ニーズの研究をしています。具体的には無償・有償のビッグデータの統計学的な分析結果に基づいた消費者ニーズやSTP、4P、プロモーションの再定義を行い企業にとって今後取り組むべき最適なマーケティング戦略“顧客の求める物は何か?”“どのように顧客とのコミュニケーションを構築するか?”等の企画・立案・並びに実行支援します。



今後の
展開や
メッセージ

これまでの経歴・実績を踏まえて地元企業に貢献することはもちろん、加えて地元ベンチャー企業のお役に立てます様な事例や事業戦略の提供、並びに世界規模のネットワークキングをサポートしたいと考えています。

研究者
情報



松林 賢司 教授・博士(工学)、MBA
情報フロンティア学部 経営情報学科
所属研究所：地域共創イノベーション研究所

研究者情報URL

<https://www.kanazawa-it.ac.jp/kyouinroku/a/BEAll.html>
<https://researchmap.jp/7000018012>
<https://kitnet.jp/laboratories/lab00106/index.html>



北陸地方で模擬店を出店する場合の市場分析にPOSデータを活用した分析事例